



角川原地区 地域計画 課題と将来の方向性 ダイジェスト版

【角川原地区の農用地等面積】 103.3 ha

うち 【田】 86.7 ha 【畑】 74.8 ha

(農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積 86.7 ha)

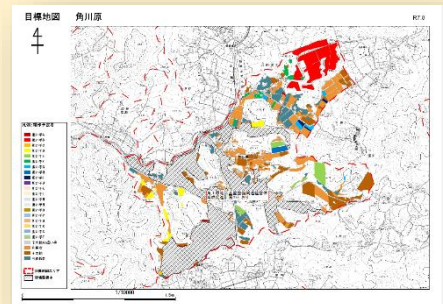
- ・今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積 合計 3.8ha
- ・角川原地区における 75 才以上の農業者の農地面積 合計 23.9 ha
- ・主な生産品目：水稻、大豆、野菜

(令和7年8月 26 日現在)

地域農業の課題

- 1. 高齢化・後継者難
 - 農事組合法人の構成員の年齢高
 - 農業従事者全体の高齢化
 - 後継者確保が困難
- 2. 離農・規模縮小
 - 高齢等による離農
 - 農地の規模縮小
- 3. 担い手の限界
 - 個人担い手の農地引受が飽和状態
- 4. 高収益作物の生産拡大困難
 - 労働力不足
 - 担い手不足で面積拡大が困難(特に野菜・果樹)
- 5. 農業所得の低下
 - 農畜産物価格の低迷
 - 生産費上昇(再生産価格確保困難)
- 6. 耕作放棄地増加の懸念
 - 離農や規模縮小による発生
 - 交付金対象外水田の増加(5年水張り要件による)
- 7. 鳥獣被害の拡大
 - イノシシ・シカ等による農作物被害
- 8. 新技術・環境対応の遅れ
 - スマート農業等の技術導入進まず
 - 持続可能性や環境配慮型農業の体制遅れ

角川原地区の目標地図



地域計画は、奥州市内 45 地区で策定をしました。

地域計画は、地域の実情に合わせた取り組みを進めるため、地域の話し合いで出し合った「課題」や「今後の方向性」を取りまとめたものです。また、農地一筆ごとに 10 年後の耕作者を取りまとめた「目標地図」も作成されています。

このダイジェスト版は、地域農業の「課題」や「今後の方向性」を抜粋して作成したものです。

地域の現状は毎年変化していくものですので、年に1回程度、地域の皆さんで「課題はありますか?」、「困り事はあるですか?」、「やってみたい農業はありますか?」など、話し合ってみてはいかがでしょうか。

地域農業の方向性

- 1. 農地の集積・集約化の推進
 - 地域内担い手への農地集約
 - 農地中間管理機構等の活用
 - 分散農地の効率的利用
- 2. スマート農業・デジタル技術導入
 - 作業効率・精度の向上
 - 労働力不足対策・コスト削減
- 3. 持続可能な農業の実践
 - 特別栽培（減農薬・減化学肥料）
 - 循環型・環境保全型農業
 - 水田保全による地域環境・生物多様性の維持
- 4. 多様な経営体の確保・育成
 - 認定農業者・新規就農者の育成
 - 地域外からの担い手確保
 - 技術継承・若手育成・経営多角化
- 5. 地域コミュニティ・関係機関との連携強化
 - 地域住民・自治体・JA・企業との連携
 - 共同作業・支援体制の構築
- 6. 鳥獣被害防止対策の強化
 - 緩衝帯の活用
 - 電気柵等の設置検討
- 7. 日本型直接支払制度等の活用
 - 農地・水田の保全
 - 地域共同作業の推進
- 8. （任意）新たな作物や経営形態の検討（輸出等も将来視野）

このダイジェスト版を「地域の話し合いで使いたい」「振興会に配りたい」などのご要望がありましたら、印刷してお渡しすることもできますので、下記までご連絡ください。

また、目標地図や他の地域計画は、奥州市ホームページに掲載しています。

※個人情報に該当する部分は掲載していません

■掲載ページ URL

<https://www.city.oshu.iwate.jp/soshiki/7/1057/2/chiikikeikaku/17284.html>

▶ 市ホームページでの検索方法

奥州市ホームページ→「情報を探す」→「ページ ID を入力」の入力欄→「17284」を入力→検索

▶ スマホやタブレットなどで下記QRコードを読み込む



■問い合わせ…奥州市農政課人農地プラン推進室（TEL 0197-34-2371）

